

Catch the eye 2015年7月

- 2015/7/1 協力、協調、協働 (水)
- 昨夕からずっと雨。今朝はかなり強く降った。外気は生あたたかくムシムシ、思わず顔をゆがめた。6月は雨の少なかった近畿の梅雨。ひょっとして長い梅雨になりそうか。
- こんなことは初めてじゃないか……。4月にスマホに変えてからすぐに新しいニュースに気づくようになった。昨日の新幹線での出来事、第一報を見た時、ただならぬ感じがした。
- 詳しい状況がわかるにつれ、”こういうことが起こるようになったのか……”の感。一報の段階では若い人かと思ったが、71歳と知って、ちょっと暗澹たる思い。生活の問題か、認知症のせいかと想像。
- 今朝のニュースによると、生活苦ということだった。昨日「骨太の方針」が決定した。今朝の日経トップはこのニュース。「歳出改革は社会保障が中心だ。……」と記事は続く。
- 夏至のレターに書いたことと合わせて、格差社会はこれからが本番と話している。政治経済的にそういう流れになっている。それをとめることはむずかしい。生活者レベルで協力、協調、協働して対応すること。
- そう感じ考える人たちの、小さいながらも確かな輪があるのも世の常。状況の先を読み行動する人が必ず現われる。だから世の中守っている、と恩師が言ったものだった。
- たしかにそう。知人たちの顔を浮かべて思う今日この頃。
- 2015/7/2 蝉の鳴き初め (木)
- おーお、蝉だあ……。喉の奥から絞り出すような、小さく唸るような鳴き声。グランフロントの北庭をぬける手前、JR西日本本社ビルの植垣の方から聞こえてきた。
- 思わず顔がほころんで。今日は7月2日、長梅雨の予報だけど、ひょっとすると梅雨明けは早いかもしれないと思いながら、北庭を後に横断歩道をわたる向こうの歩道を女性が右手から横切る。
- 顔が笑っている。歩行の先に誰か知り合いでも見つけたのかと左手の角の通りを見る。それらしき人はいない。たぶん彼女も蝉の声を聞いたんだ。まだ慣れない鳴き声がいじらしかったんだ。
- 今日が一年の真ん中らしい。残り半分もこの間の早さで過ぎる。
- 2015/7/7 ユーモア (火)
- 梅雨の空模様が続く。今日も雨。このところ気温が低く、窓を閉めきっていても、まずまず過ごしやすい。しかし予報では明日から蒸し暑くなるらしい。今日は小暑で七夕、残念ながら星空は望めない。
- 先日はじめて評してもらった、「ユーモアがあつて」。届いたメールにそう書いてあった。おーお、これは記念すべき日。どういう面にそう感じてもらったのか、わからないけど、なんとも響きがいい。

あまり面白みのない人間だということはずっと前から自覚している。人が聞き流すようなことを聞きとめて問い返し、相手が二の句に詰まるということがよくある。

『それって、どんな時ですか?』。一見ちょっとコワそうな熟メン経営者が冗談まじりに、『おれだって泣きたい時があるよ』。その場の雰囲気からして話は次へ進む場面なのに、うん?!とってしまった。

一緒にいた友人も、その熟メン経営者も、キョトン。答えを待つ当方。一瞬の沈黙が語る、“何を聞くんた、この子は”、“ひょっとしてマズいことを聞いたかな?”

もう30年近く前のことだけど、あの時の一瞬の間は今もよく憶えている。しばらくして、「あははははは!」と声を出して笑い、もちろん答えは貰えないままだった。

2015/7/13 夏、ピーク
(月)

まいった。昨日から急にうだる暑さ。昨夜はこの夏はじめての熱帯夜。本当に寝苦しかった。そこへもってきて、大分での地震。熟睡もできず、朝起きたら頭が少し痛い。水、水、水を飲もう。まずはコップに塩をひとつり、飲みきる手前でしょっぱさが増す。気のせいか、痛いのが治った。

さきほど任天堂社長死去のニュースがとびこんできた。えっ?!とびっくりすると同時に苛酷な職責を思った。亡くなったのは一昨日らしい。これから詳しいことが出てくるだろうけど、地位が命を縮めたような気がする。度がすぎると問題だけど、トップにはある種の太々しさも必要。

それはさておき、はや、この週末は祇園祭の山鉾巡行。来週末は天神祭。昨日日曜の昼下がりに、ふと子供の頃の昼寝の時間のことを思いだした。町は静かで、あの頃の夏模様が長い時間を経て、いまここに在るという感じがした。夏、いまがピーク。

No. 09

トークイベント整理券

若松英輔トークイベント 本屋から本が生まれる

日 2015年7月15日 (水)
時 19:00~ (18:30開場)
場所 ジュンク堂書店大阪本店
3階喫茶コーナー
TEL 06-4799-1090

著者・出版社へひとこと

お客様のお名前
(サインを頂く際に使用します。
あらかじめご記入ください)

※イベントご参加までに裏面の注意事項をよくお読みください。

2015/7/15 哲樂散歩
(水)

6月で終わってしまった日経夕刊木曜の『プロムナード』。こういう人がいたのかを初めて知った批評家の若松英輔氏。ごくごく少人数の興味深い講座を開いている。

東京ではちょっと無理だと、ご本人のホームページをチェックしながら思ったのは連載を読み出した年初。以来、せめて関西で講演会がないかしらとたまに開いていたら、あった。

ジュンク堂には1時間前に着いた。予約はしてあった。カウンターで整理券を受け取り、開始時間まで本をみて過ごすつもりだった。

20分ほどして、会場をチラッとみると、すでに座っている人がいた。“それならわたしも…”。さて、どこに座ろうか。一番前では近すぎるし、かといって顔が見えないのはイヤだし。

通路をはさんで両サイドにイスが3列ずつ並んでいた。前に向かって左の前から3行目の左端に座った。前2行の真ん中のイスに誰も座らなければ、講演者の顔がよく見える。

この日の定員はたしか30名だった。ひょっとして満席になるかと思ったが、前2行の真ん中は空いたままだった。若松氏と斜めに顔を合わすことができた。

“話にも無駄な言葉がない…”。小1時間の話すべてが若松氏であった。知であり体であった。開口一番、安保法案が委員会で可決された話から始った。

おそらく配布する予定ではなかったレジメ。話が始ってから主催者に声をかけ、コピーし出席者に配られた。タイトルは『非戦の悲願—内村鑑三と太宰治』。

たくさんの言葉を書きとめ、考えさせられた。講演後、質疑応答の時間。熱心なファンが来ているようだったので、たくさん手があがるかと思いきや、誰もあげなかった。

主催者もご本人もちょっと困ったような感じだったので、それならと手をあげた。質問ではない。共感し共鳴したことを伝えたかった。このやりとりで、あらためて通じるのを感じた。

この日の午前中は、あるセミナーの企画案を練っていた。「信用」と「信頼」の違いを調べ、ノートに書きとめた。久しぶりに『信頼の構造』（山岸俊男）を開いて読んでいた。

サイン会を背に会場を後にした。記念にとも思ったが、それを超えるものをもらった。帰り道、“本当に今日はいいい日だった…”。朝の思考が夜へとつながり、発展していった感。

書きとめた言葉は別にちゃんと清書することになっている。

2015/7/17 厚みに大らかさ
(金)

巡行はうまくいっているのかしら。朝一番に決定されたけど、その後からずっと大阪は雨。京都も同じようだと思うのだけど・・・。

京都はこの7月に著名な経営者を相次いで見送ることになった。堀場製作所創業者の訃報が伝えられた。今から20年前、講演を聴いたことがある。創業者はやはり魅力的だと感じたものだった。

印象に残った話が二つある。一つは「太鼓持ち」の話。どんな会社にも太鼓持ちのような人がいて、かの有名な社是を決めるとき、いつもは『よろしいなあ』と言っている側近が、さすがに『それはちょっと・・・』。

もう一つは「赤旗」の話。新聞はいろいろ読み、『あの新聞はトップはややこしいこと書いてますけど、中の方をよく読むと、けっこう真っ当なこと書いてますよ』。なるほど、やはり思考がグローバルと思ったものだった。

昨日の新聞に、『薄っぺらいのに自信満々な人』という本の広告が載っていた。厚みのある人は大らかなもの。この本のタイトルにあたる人たちが国を司っているように思える今日この頃。

2015/7/18 (番外)
(土)

アドバンスとして昨年からまたスタートした『プロ講師になろう塾』。あつというまに最終回。受講者たちの奮闘にエール。



みなさんへのエール

～ “自分ならではの” の仕事と人生のために～

次の5つについてよく考え、学び、実践する努力が欠かせないでしょう。

1. “自分ならではの”を知る

(リー流方法の一つ) 記録していないけど記憶している「情景・光景・場面」「人の話・人が自分を評した言葉」を思い出し、いまにつなげて考える

2. “自分ならではの”を起こす

(リー流方法の一つ) 他人のコンセプトは身にも実にもならないと了解、情報収集やインプットは同業他者のものでなく、異分野のものにする

3. “自分ならではの”を受け容れる

(リー流方法の一つ) 誰しも “自分ならではの” の存在、他者の業が脚光を浴びたとして、「さて、それに意味を感じるか?」と自分に問う

4. “自分ならではの”を究める

(リー流方法の一つ) 思い立ったこと、気にとまったことはやり過ぎさない。そのことに意味づけをして、大なり小なり、必ず次につながる行動をする

5. “自分ならではの”を終う

(リー流方法の一つ) “自分ならではの” は一代、前途にひかえる ‘終わり’ を決め、恩人に報い、後進に応えられるもの出し切り、頭の中を空にするつもり

“自分ならではの” のモノやコトをものにするのは難しいことですが、その先に自信と誇りある人生が待っています。自分の価値観に合った生き方をしながら、人によろこばれる仕事をしている。そんな前途を創りたいものですね。

Lee Ann Kiyomi

2015/7/19 LgLひとくぎり
(日)

1月から2月に相楽地域で開催された『自分ならではのビジネス創業塾』。かつてないほどの一体感で、6月の『あじさい人びと楽座』の企画実施に発展し、19日のふりかえりランチ会でひとくぎり。でもこの出会いと親しみはこれからも続く。うれしいことにみなさんからお花のプレゼント。



2015/7/20 海の日
(月)

風があり空気が澄んで子供の頃の夏の日を思い出したこの日。
陽の沈んだ西の空に五日月。



2015/7/21 夏の午後
(火)

近畿も梅雨が明け、海の日から夏のお天気。昨日は風があった。空が青かった。空気が澄んでいた。子供のいるお家は一家でどこかへ出かけているのか、町なかはやけに静かだった。

はるか遠くの昔。夏休みに入ってまもない日の午後。昼寝をするよう言いつけられて畳に寝転んでいたあの頃。いま思えば、子供ながらに一人の時間を愉しんでいたように思う。

あの時と同じ風、同じ光、同じ夏の静けさだったように感じた昨日の午後。フローリングの床に草の寝御座を敷いて、本を読むことにした。一人の時間を愉しむ格好のセッティング。

ちょうどこの土日に仕事2つの区切りがついた。その余韻にひたる昨日の休日であった。もっといえば、15日に聴けた話が余韻の伏線になっていた。ジュンク堂で若松英輔氏のトークイベントに出かけたのだった。

ほんの小一時間であった。話にも無駄な言葉が一つもないと感じた。6月いっぱい『プロムナード』の連載は終わってしまったが、直接話を聴く機会があってよかった。当日のメモは清書して大切にしている。

2015/7/28 ほんの小さなこと
(火)

7月ものり数日。暑さはピーク。朝晩は風にすくわれるが、日中はもう言葉にならない。一昨日の日曜もそうだった。そこへとびこんできたニュース。ギョツとした。休日のお昼前、そうじなどを終え一段落した時のこと。まるで爆弾が落ちたような現場の様子。

引っ越して一週間ほどしかたっていない人の頭上を襲った事故。なんということだろう。操縦していた人は2年前に独立して会社を興したとか。なんとなく状況が想像できる。これからいろいろと情報が出てくる。たぶん、啞然とするような原因なのではないか。

「指数関数的不安定性」、「ハインリッヒの法則」、「バードの法則」などなど。ごくごく小さな出来事や変化がいずれ重大な結果をもたらす。言葉は知らなくても、経験的にわかってくる。仕事や人間関係しかり、政治や経済もまた。

2015/7/30 真相はいかに
(木)

連日の猛暑。おまけに不安定なお天気。突然雲行きが変わり、雨が一気に降る。昨夕は京橋あたりですごかったらしい。今日もピンポイントで夕立の可能性。とにかく、はやく涼しくなってほしい。

屋内でもまるで照り返しのよう。近鉄八尾駅、ホームにあがるエスカレーターに立つと下から熱気があがってきた。わあー、なんと暑い暑い。ホームに着くと、上下線の屋根が近くて、風が通らない。暑い！

いやはや、はやく電車が来ないかな。そう思いながら人の少ない端の方で歩きだしたところ、大きな声が聞こえてきた。ホームのベンチで男の子が一人。スマホで友達としゃべっているよう。それにしても、妙にハイテンションな声。

しばらくして電車がきた。男の子が先に乗った。その間もずっと話している。すき間をあけて座席を陣取った男の子。すわったと同時に、スマホにむかって、『電車に乗ったので切っいいですか?!』。両隣にすわっていた女性たちが男の子を見た。

今どき電車の中でしゃべる?!という感じだった。斜め前に立ち、男の子を観察してみる。まだ中学一年か二年生ぐらい。制服からすると、私立に通っていきそう。白いイヤホンから相手の声が聞こえ、本人はスマホの画面に声を出している。

電車に乗ってからずっと同じ言葉を繰り返している。『電車に乗ったので切っいいですか?!』。初めは友達どうしてふざけ合っているのかと思った。でも、しだいに、これは、自分から勝手に切れない相手なんだと想像した。この男の子はイジメに合っているのではないか。

相手が聞こえないフリをしていたり、切ったら後で何か報復をほのめかしている。そういう風に見えた。布施駅が人がたくさん降り、男の子から二人分はなれた席にすわった。何度かチラッと横顔を見た。親しげに話しているようであり、泥沼にはまっているようでもあり。

結局自分から切ることはせず、話が続いていた。そのうち『買いますって、絶対ちゃんと買いますって!』。いよいよニュースで聞くような状況かと疑う。電車を降りる時も重そうなカバンを抱え、片時もスマホをはずせない、あるいは意地ではずさない?知る由もないが、真相はいかに。

「すみれ」にも
う萩？

八尾市の男女共同参画センター「すみれ」での連続講座。この日朝から暑く、早く行って涼もうと小一時間前に到着。施設を入る手前の緑に目がいく。えっ、萩?! そんなはずはないと思いつつ。写真を撮る。



2015/7/31 満月

連日の猛暑で、満月のことも忘れていた。もう少し低い位置で眺めたかった…。

